

# 国語の玉手箱

六の二と「物語を作ろう」

平成二十七年 十一月十一日(水)

文責 国語専科 池谷

## 『新人作家〇〇〇〇の

## 新作発表「◆◆◆◆」』

今、六年生は想像したことをもとに、オリジナルの物語を書く学習を行っています。これまでに習った、または読んできた物語は、どのような構成になっていたのか、どのような表現が使われていたのかを思い返して物語を書くことに生かしています。これまでに六年生は、名作と言われる多くの物語を国語の時間に学習してきました。

- ☆おおきなななぶ ☆サラダでげんき ☆おとうとねずみチロ
- ☆お手紙 ☆ニヤーゴ ☆名前を見てちょうだい
- ☆かさこじぞう ☆すいせんのラツパ ☆サーカスのライオン
- ☆ゆうすげ村の小さな旅館 ☆こわれた千の楽器 ☆走れ
- ☆世界一美しいぼくの村 ☆ごんぎつね ☆注文の多い料理店
- ☆だいじょうぶ だいじょうぶ ☆大造じいさんとがん
- ☆世界でいちばんやかましい音 ☆サボテンの花
- ☆風切るつばさ ☆海のいのち

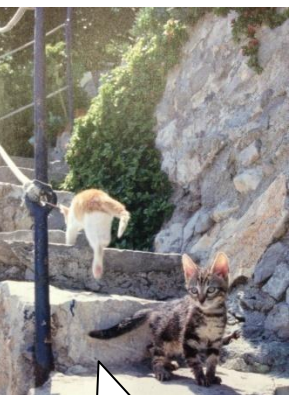
既習の物語も参考にしながら、物語を書き進めていくと思えます。しかし、想像したことをもとに物語を書くことは、難しいことです。そこで、想像を広げるために写真を使います。写真を見て想像を広げ、それをもとに物語の構成を考えました。子どもたちはいろいろなことを写真から想像しました。



- ・朝起きたら、魚になっていた。
- ・旅をしている途中で迷子になった。

- ・儀式によって光を失ったホタルを救う。
- ・木に話しかけられた。

- ・時を自由に操る人。
- ・過去に戻る。
- ・地球のピンチ。
- ・実は小さいミニチュア。
- ・時計の中に小人がいる。
- ・ビッグベンになっていた。



- ・猫になってしまった。
- ・食料を探している。
- ・飼い主を探している。

・実は、このトロフィーはニセモノだった。

・サンタさんからのクリスマスプレゼント。

・実は、お姉ちゃんのプレゼントだった。

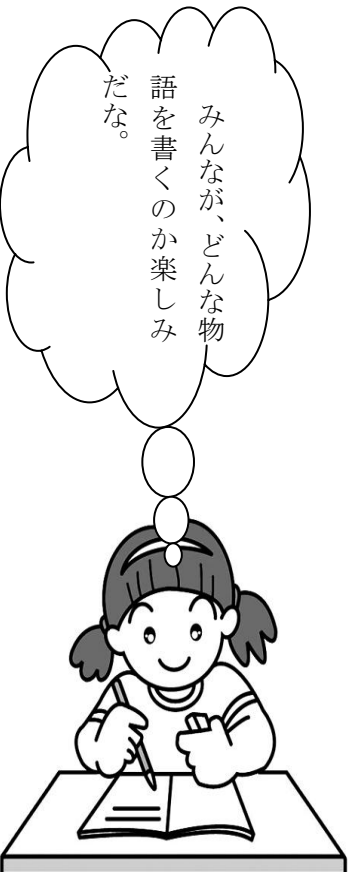
・亡くなった兄からのプレゼント。

・自分の体に相手の好きな食べ物がついている。

友だちが写真から想像したことも参考にしながら、七枚の写真の中から一枚選び、想像を広げました。写真に写っているものから、物語の「時」、「場所」、「人物」や、これからどんな出来事・事件が起こるのかを想像し、構成メモに整理しました。

この単元は、全七時間で左にある「学習の流れ」に沿って学習を進めています。子どもたちが、どんな物語を書いているのか楽しみます。

6年生
「物語を作ろう」
学習の流れ(全7時間)
新人作家〇〇〇〇の
新作発表「◆◆◆◆」
学習の流れ
1 これからの学習のめあて
をつかもう。(1)
2 想像を広げて、物語の構
成を考えよう。(1)
3 表現の工夫について考え
よう。(1)
4 表現を工夫して物語の
「始まり」の場面を書こ
う。(1)
5 物語の「山場」を書こう。
(1)
6 表現を工夫して物語の
「終わり」の場面を書こ
う。(1)
7 完成した物語を読み合
い、交流しよう。(1)



みんなが、どんな物語を書くのか楽しみだな。